

## 広域連携・次のステージへ

名古屋市を中心とした 39 市町村の広域連携ワーキンググループ（JYM39）は昨年 8 月に首長方前で 20 年後の未来像を発表しました。たいへん好評で、この取り組みは今後も継続していくことがその会議で確認されました。

昨年度末から今年度ゴールデンウィークにかけて、プロジェクトを組み、実施してきました。

### ☆今年度も継続します

4 月の異動を経て、当初から 2/3 のメンバーが入れ替わりました。交流とプロジェクト進展のためにも、新たなメンバーに当初の想いやプロジェクトの経緯を共有する必要がありました。

情報を共有するには、様々な方法がありますが、今回は「語り継ぐ」ことを重視しました。

### ☆対話で語り継ぐ

当初のメンバー、プロジェクトに参加したメンバーが語り部となって、様々な視点からの情報提供と質問や感想など、じっくりと対話する時間を設けました。

当初のメンバーからは、このワーキンググループに参加してよかったことも整理して伝えられ、先輩の意気込みが伝わってきました。プロジェクトを進めていくには、業務外の内容、業務時間外も予想されますので、モチベーションをもってもらえることがプロジェクト成功のカギになります。



### ☆次のステージへ

昨年度末のプロジェクトは、まずはやってみようと試験的に行いました。この取り組みはマスコミに取り上げられたり、スマホのアプリを活用する情報発信に取り組んだりと今までにない手ごたえのようなものがあります。

この感覚を持続しながら次のステージへ楽しみながら進んでいきたいと思いました。

その場にご一緒できることが幸せです。

☆成功のためには、いきなり大きなことではなく、プロトタイプ（小さく始めてみる）から始めることと言われています。この取り組みの成功が期待できそうです。